

2020年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	単位 時間	1 30	曜日・時限	金曜日 2・3・4限
教員	晴佐久 悟						

【到達目標】

公衆衛生と環境衛生の基礎知識を学び、衛生管理の学科の重要性を知る

【授業の学習内容】

感染症の概要、主な感染症、衛生管理技術までの基礎学習を通し、美容師として人と接する責任を持つためには衛生管理の学科知識は大変重要であることを理解できるようにする。感染症、衛生管理技術を学び、美容師として人と接する責任として、感染症を予防する基礎知識・技術を習得する。

配布したプリントにある重要な箇所のチェックをし、講義終了前に実施される小テストで学習成果を確認してほしい。

【教員実務経験】

歯科大学、歯科衛生士専門学校で、公衆衛生を講義し、公衆衛生、地域保健に関する研究を実施している。公衆衛生の教育歴は20年であり、本学での衛生管理の教育歴は7年である。

No.	日程	授業形態	授業計画・内容	小テスト・定期試験
1	1回目	講義	3編 感染症1章 感染症の総論1・微生物病原性・感染症の種類・免疫・予防	
2	2回目	講義	3編 感染症1章 感染症の総論2・感染源、感染経路、宿主の感受性の遮断	
3	3回目	講義	3編 感染症1章 感染症の総論3・感染症発生の要因、感染症予防の3原則	小テスト5点
4	4回目	講義	3編 感染症2章 感染症の各論1・各種感染症の感染経路、予防法	
5	5回目	講義	3編 感染症2章 感染症の各論2・感染症の感染経路・予防法・措置	小テスト5点
6	6回目	講義	感染症総論・各論まとめ・美容業務従事者の知識認識、感染症の感染経路、予防方法	
7	7回目	講義	中間試験	中間試験20点
8	8回目	講義	4編衛生管理技術 1章 消毒法総論・消毒法の歴史、病原微生物・非病原微生物	
9	9回目	講義	4編衛生管理技術 2章 消毒法各論1・消毒法の理学的消毒法(殺菌法)	小テスト5点
10	10回目	講義	4編衛生管理技術 2章 消毒法各論2・消毒法の化学的消毒法(殺菌法)	
11	11回目	講義	4編衛生管理技術 2章 消毒法各論3・すぐれた消毒法とその実施上の注意	小テスト5点
12	12回目	講義	4編衛生管理技術 3章 消毒法実習1・各種消毒薬の概要、器具の使い方	
13	13回目	講義	4編衛生管理技術 3章 消毒法実習2・消毒薬の希釈計算	
14	14回目	講義	期末試験	期末試験50点
15	15回目	講義	期末試験フィードバック・成績評価	小テスト10点

**準備学習
時間外学習**

準備:
時間外学習: 授業のノート整理、項目の復習、過去問題の練習

評価方法

●習熟度 : 100点(到達目標に対する成長具合や習熟度)
◇出席 : TS・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる)
◇合否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0)、
実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価

**受講生への
メッセージ**

衛生管理は、美容師国家試験に15問出題されるので、国家試験合格を目指して、しっかりと予習、復習して、学習することを期待します。

【使用教科書・教材・参考書】

衛生管理/日本理容美容教育センター
配布プリント、美容師筆記試験問題集